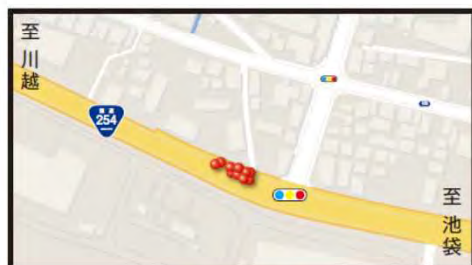


ビッグデータを活用し、道路の安全性を一層高める交通安全対策を推進しています

区間ごとの事故率による分析に加え、ビッグデータ（急ブレーキ位置情報等）の分析を実施します。
これにより、事故の多発する可能性の高い潜在的な危険箇所を特定し、効率的に道路の安全性を一層高めます。

埼玉県和光市の例（対策概要）



ビッグデータにより
急ブレーキ多発箇所
を特定

減速度 0.3G 以上を
急ブレーキと定義



対策前



対策後

現地にて**植栽帯が**
見通しを阻害している
ことを把握

植栽帯を剪定し、
急ブレーキ回数を
削減

ETC2.0から得られる情報



対策による効果（※10）

1ヶ月間の急ブレーキ総数
（県内160箇所）



※対策前：H20年10月（1か月間）
対策後：H23年10月（1か月間）

1年間の人身事故
（県内145箇所）



※対策前：H20年11月～H21年10月（1年間）
対策後：H23年10月～H24年9月（1年間）